

課題解決に資する提案等まとめ（経過報告）

〔区の特徴〕

- 日常生活に自転車が切り離せない／平坦な土地で利用しやすい。台数が非常に多い。（1家庭で複数台所有するケースも多い）
- 多様な区民の存在／転入者と従来からの住民、多世代、外国人、障がい者など→相互の理解が今後のまちづくりのカギ、特定の層を悪者にしない。
- 短時間利用（買物など）の自転車（駐輪）対策が課題／対応に苦慮。商店街にも配慮した対策が必要。（路上陳列等と併せて対応）

検討のポイント

- ・区の特徴や現状（中原区らしさ・特徴）
- ・区民会議の取組として（意義や妥当性・効果）
- ・緊急性・優先性（深刻度、適した機会・時期）
- ・実現性（担い手・費用・手段等）
- ・話題性（当事者性、ニュース性）
- ・共感性（やってみよう、やってみたい）

第5回課題調査部会（8/3）等／意見等まとめ

課題分野	課題・発生箇所	解決の方向性、取組の例や案 など
自転車に 起因する 交通事故	■自転車危険運転・違反運転…信号無視・夜間の無灯火・スピード等（松本委員） ■事故の増加・深刻化…多額の賠償金、未成年者の事故等	・既存の取組の周知・徹底（事務局） 交通安全教室・活動の浸透、広報強化 ・自転車保険加入の奨励・促進（梅原、長尾委員） TS マーク活用案内、PTA 等での保険加入の奨励 ・事故事例等の広報（梅原委員）
ルール …法令（道路交通法、 条例、規則、罰則）、 警察の取締り 〔守らない原因〕 ・危険や不便の回避 ・ルール軽視、低意識 ・無意識、無知など 〔主な対応策〕 →周知・取締り	■駐輪場の利用促進…特に買物客等の一時利用者 ■自転車が安全・安心通行できる環境づくり（山崎委員） 自動車も、車道を走る自転車は怖い（梅原委員） ■路上駐輪…歩道・点字ブロック上等（松本・仲亀委員） →平間駅周辺：ガス橋～小杉方面など ■路上陳列…商店による歩道占拠・通行妨害（松本委員） →モトスミ・プレーメン通り、オズ通りなど	・駐輪場の整備・拡大（仲亀・梅原・松本委員） ・課題箇所の抽出・分析・マップづくり（成田・長尾・山崎・反町委員）／多世代の参加によるワークショップ ・花壇、ガードポール等設置による駐輪防止（松本委員）
マナー …思いやり、譲り合い 相互理解、共存、常識、他者への配慮 〔守らない原因〕 ・危険・不便の回避 ・自己中心的な理由 ・無理解、無知など 〔主な対応策〕 →啓発・普及	■ルールの周知・認知の拡大（松本・梶川・仲亀委員） ・携帯・傘等の「ながら運転」（梅原・長尾委員） …違法と認知していない場合も多い ・自転車＝（軽）車両の意識がない	・既存の交通安全活動の浸透・広報強化（梶川委員） ・高齢者自転車安全教室の実施（田中委員）／老人会等 ・自転車安全運転者証の発行（梅原委員）／ 市の取組（小学生など）、ボーイスカウトの取組（講習・証明書発行）→講習会の開催、商店街割引の特典等
環境の未整備	■通行マナー（仲亀・長尾・反町・山崎委員） …並列通行、舌打ち、「ながら運転」 …対象：保護者・現役・主婦等の大人、中高生 ■ながらスマホ…歩行、ベビーカー等（長尾・梶川委員） ■自転車マナー…過速度、歩行者無視（梶川・山崎委員） ■ベビーカーのマナー…スピード、並列通行（長尾委員） ■通勤・通学時の混雑・危険運転等（山崎・成田委員） →保育園への送迎、出勤（特に武蔵小杉駅周辺） ■マナーを“知らない”人・子ども（梅原・反町委員）	・自転車マナー教室の開催（長尾委員） 保育園・幼稚園参観日等、家庭教育学校、 小中学校成人委員会、町内会等 ・SNS 等を活用したアピール（長尾委員） 中高生向け ・ベビーカーのマナー用パンフレットの作成、配布（長尾委員） 配布は健診時など活用 ・マナー喚起看板の設置（山崎委員） ・啓発標語の選定と活用（成田委員）
	■自転車通行帯表示の断絶や不明瞭さ（田中・松本委員） ■安全・安心な歩道の確保（障がい者・高齢者・子育て世代等）	・自転車通行帯・案内等の整備・充実（田中委員） ・循環型ミニバスの検討（松本委員）

第6回課題調査部会（9/2）
意見等まとめ

スクアドストリート方式の教室実施の拡大（成田・松本委員） 事故、危険性のスタントによる実演 中高生や親世代の体験機会の増加 記録映像の作成・上映の機会の増加
軒下駐輪場（茅ヶ崎市事例）（コンサル） 商店街等の空き空間を一時駐輪場化
キャンペーン・イベント（反町・山崎委員） 既存イベントでのステージ・展示 3/19＝「サイクルの日」として実施 自転車販売業者等と連携 …整備指導・保険加入奨励等 子どもが行きたい企画→親と行く
区民会議委員による広報活動（松本委員） 各種会合等への訪問・PR・周知
自転車安全運転者証（梅原委員） 既存取組の拡大・発展、講座の展開 ※名称や仕組み等是要検討・調整
啓発資料の作成・活用（反町・成田・長尾・梶川・松本委員） 動画（既存資料等の活用） 伝わるパンフ（イラストや漫画形式） 子から親へ渡る資料・町会回覧等 自転車・ベビーカー等にスポット
バスに車内啓発アナウンス（仲亀委員）
コミュニティ・循環バス（松本・梅原委員） ワンコイン・施設循環、高齢化対策等 →実現への道筋・事例の提示…地域 主体の取組（住民協議会）・行政支 援等 元住吉、井田病院ルート等変更・改善 →議会へ請願・陳情

第5回運営部会（9/29）
意見等まとめ

- 啓発のイベント等は親子や大人世代が参加できることが望ましい
- 自転車保険加入や整備など、営業につながれば自転車業者と連携が可能ではないか
- 毎月 20 日を“二輪の日”とするキャンペーンなどの実施
- 中原区のオリジナリティを出す取組としたい（既存の取組の強化に留まらない）
- 警察等との連携が重要
- 学校の授業以外の場、子育てサロンや健診などを活用し、講座を展開
- 欲しくなる自転車運転者証の作成
- 「安全運転宣言ステッカー」の作成（例）無灯火では乗りません
- 自転車乗車時の服装や、ブレーキ整備等も必要な啓発事項
- ベビーカーと自転車のマナーを合わせた資料であれば、中原区らしい
- ベビーカーへの配慮も啓発の1つ
- マナー・モラルアップポスター（まちづくり推進委員会）の活用
- 小学生の絵画を活用して、道路の路面上に貼付（川崎区東門前）
- 自転車盗難が多い→施錠を指導
- 事故や検挙の件数、内容等の広報
- ストライダーやキックボードも危険
- コミュニティ・循環バスの要望に関する働きかけは必要。区民会議でも課題を指摘し、その意見や経緯、状況を整理し、報告書に記録

「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」

①「地域コミュニティ」の活性化・連携 ②「みんなで」（多様な区民が共に）取り組む ③「相互理解、マナー、思いやり」を育む ④「歩きやすく、住みやすいまち」の実現